

1 学校運営の中期目標

学校目標「人間性豊かな児童の育成 ～考える子、協力する子、たくましい子～」

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

小学校学力経年調査結果(以下、経年調査)「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答は85%で一昨年度77.1%を上回ることができたが、目標値を達成することができなかった。対象の4学年のうち2つの学年では85%を上回っているが、他の2つの学年が80%を下回っているため、次年度はすべての学年で学校が楽しいと感じられるような取り組みを進めて、学校全体の肯定的回答の割合を高めていく。

経年調査「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか」の最も高い「思う」と答えた肯定的回答は84%であり、目標の85%を達成することができなかった。いじめ・いのちについて考える日を複数日設ける等、継続指導を行い、さらに意識を高めていく。

いじめの総数は一昨年度よりも減っている。しかしながら、総数に着目するだけでなく、早期発見・早期対応ができる体制と意識を継続していく。また、少数ではあるが否定的な回答をする児童を見逃すことはできないと考える。

保護者の「学校は子どもの安全確保に努めている」の肯定的回答は91%であり、昨年度の88%を上回った。令和7年度末目標の80%以上はすでに達成している状態であり、今後も90%以上を継続していくことをめざしていく。

多くの児童が安全・安心に登校できている状況であるが、学級・学年・学校全体で友だちと喜びを味わえる活動や成功体験を積み重ねることを通して児童の自尊感情をより高め、「学校は楽しい」と肯定的に回答する児童の割合を88%以上にしていく。

様々な教育活動に取り組んだり、教職員と児童の信頼関係を構築したりすることで、いじめを許さない意識をより高めていくとともに、いじめについてはアンケートを活用し、早期発見・解消に今後も努めていく。解消率については100%に近づける。

「自分にはよいところがありますか」での肯定的回答は同じく学年でのばらつきがみられるが、特に5、6年生で肯定的回答が低い傾向がある。

より主体的に行動できる高学年の育成を図りながら、子どもたちの横のつながりと縦のつながりを太くしていくことを意識した教育活動を推進すること、並びに児童一人一人のがんばりを認め、自尊感情を高める取組を継続して行いながら、より安全・安心な学校づくりを実現させていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

経年調査における「話し合い活動」に関する最も肯定的な回答は33%で昨年度37.5%を下回った。しかし、すべての肯定的な回答の割合は76%となり、多くの児童が話し合い活動による学びを実感していると言える。また、児童だけでなく教職員についても、「話し合い活動」を大切にする意識は高まっており、授業研究を深めながら効果的な話し合い活動を展開していきたい。

経年調査「運動やスポーツをすることが好きですか」の最も肯定的な回答は73.3%であり、昨年度67.7%を上回った。

全国体力・運動能力・運動習慣等調査対象の5年生の体力平均点は、全国平均を下回った。来年度は、スポーツをすることが好きな児童が増えていることから、今年度の取組のよさを生かして指導・支援していく。

また、「外で元気に遊んで体を動かしている」と回答した児童は79%で、今年度の目標を達成した。校舎改築が終わり、運動場を全面的に使用できるようになるため、さらに運動の促進を図り、児童の体力向上につなげていく。

児童の健やかな身体の成長の育成においては、保健教育、食育教育を中心にして健康に対する意識を高めていく。児童への指導を継続して取り組むとともに、保護者への啓発活動もよりいっそうすすめる。体力向上に向けて、体を動かすことの意識向上に努め、学校アンケート「外で元気に遊んで体を動かしている」の肯定的回答について70%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

児童の活動の様子から、学習者用端末の活用率が目標に達することができなかったが、新しい端末に入れ替わり故障率が低く使いやすくなったことで、活用率は確実に伸びている。使用方法・使用時間について、教職員で共有し、現在の活用率を維持または向上していけるように取組を進める。

「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を85%以上にするについては90%であり、昨年に引き続き目標を上回ることができた。今後も「必要なこと」「削減できること」を吟味しながら、行事等を精選し働きやすい環境づくりをさらに進めていく。

読書活動については、教職員の視点では、児童は「楽しく読書活動ができています」と感じているが、経年調査における児童の「読書は好きですか」についての肯定的回答は67%であり、目標値の70%に至っていない。しかし、昨年より読書に対する児童の意識が高まってきていることから、引き続き児童が楽しく読書活動を行えるよう取り組んでいく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 令和8年度小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を84%以上にする。【R7:83.9】
- ② 令和8年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を1.60%以下にする。【R7:4.07%】
- ③ 令和8年度末の校内調査において、不登校児童の改善の割合を令和4年度末より増加させる。
- ④ 令和8年度「生徒指導上の諸問題に関する調査」項目の「いじめ」の解消率を95%以上とする。【R7:65%】
- ⑤ 令和8年度学校アンケート「学校は楽しい」の肯定的回答を、85%以上にする。【R7:85%】
- ⑥ 令和8年度学校アンケート「学校は子どもの安全確保に努めている」の肯定的回答を80%以上にする。【R7:91%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和8年度小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上にする。【R7:33%】
- ② 令和8年度小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。【R7:6年国1.03 算1.05 5年国1.04 算1.02】
- ③ 令和8年度小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。【R7:80.4%】
- ④ 令和8年度小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。【R7:70.1%】
- ⑤ 令和8年度小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。【R7:73.3%】
- ⑥ 令和8年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点の差を市平均より2ポイント以内にする。【R7:市52.6 学校49.5】
- ⑦ 令和8年度学校アンケート「外で元気に遊んで体を動かしている」の肯定的回答を80%以

上にする。【R7:79%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。
- ③ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ① 小学校経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 85%以上【前年度 83.9%】にする。
- ② 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度以上【前年度 85%】にする。
- ③ 「生徒指導上の諸問題に関する調査」項目の「いじめ」の解消率を 95%以上とする。【前年度 65%】
- ④ 学校アンケート「学校は子どもの安全確保に努めている」の肯定的回答について 80%以上を維持する。【前年度 91%】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 40%以上【前年度 33%】にする。
- ② 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を前年度以上【前年度 73.3%】にする。（前回の中期目標は 40%）
- ③ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点の差を市平均以上【直近 5 年平均】にする。【R7:市 52.6 学校 49.5】
- ④ 学校アンケート「外で元気に遊んで体を動かしている」の肯定的回答について 70%以上を維持する。【R7:79%】

【学びを支える教育環境の充実】

- ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を %以上にする。
- ② 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を〇%以上にする。
- ③ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。

3 本年度の自己評価結果の総括

【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】

大阪市立茨田東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 ○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上【前年度85%】にする。 ○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を84%以上【前年度83.9%】にする。 ○「児童生徒指導上の諸問題に関する調査」項目の「いじめ」の解消率を70%以上とする。 【前年度65%】 ○学校保護者アンケート「学校は子どもの安全確保に努めている」の肯定的回答について80%以上を維持する。【前年度91%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 各学年での課題(いじめ、不登校、暴力行為、虐待等)についての共通理解を図る会議を毎月実施し、指導体制を整え、早期解決を図る。 指標 学校アンケート「学校は楽しい」の肯定的な回答を85%以上【前年度85%】にする。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 災害時に備えた訓練や学校ホームページ・保護者メール配信を積極的に行い、安全・安心な学校づくりをすすめる。 指標 学校アンケート児童対象「学校は、安全ですぐしやすく、学習しやすい。」の肯定的回答を前年度以上【前年度84%】にする。保護者対象「学校は、子どもの安全確保に取り組んでいる。」の肯定的回答を前年度以上【前年度91%】にする。	
取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】 「ゴミ0の日」を月に1回以上設定し、子どもたちの美化および衛生意識を高める。 指標 学校アンケート「そうじをいっしょうけんめいするなど学校をきれいにしようとしている」の肯定的な回答を前年度以上【前年度83%】にする。	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 生活目標を達成する喜びを味わわせ、ホンモノと出会ったり成功体験を積み重ねたりすることで、自尊感情を高める。 指標 学校アンケート「自分にはよいところがありますか」の肯定的な回答を前年度以上【前年度78%】にする。	
取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】 たてわり班編成により、児童会活動の活性化を図り、異学年交流を深め、児童のコミュニケーション能力を育成する。 指標 学校アンケート「なかよし班活動(なかよし班オリエンテーリングや児童集会など)は楽しい」の肯定的回答を前年度以上【前年度80%】にする。	

取組内容⑥【基本的な方向2 豊かな心の育成】 特別な支援や配慮が必要な児童の実態について教職員間で相互理解を図り、児童・保護者の思いや願いを受け止め、一人ひとりに応じた指導に努める。	
指標 学校アンケート「学校では、自分も友だちも同じように大切にされている」の肯定的回答を前年度【前年度 85%】以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立茨田東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を40%以上【前年度37.5%】にする。 ○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を前年度以上【前年度67.7%】にする。 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点の差を市平均以上【直近5年間平均値】以上にする。 ○学校アンケート「外で元気に遊んで体を動かしている」の肯定的回答を前年度以上【前年度79%】を維持する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 体験的な学習を積極的に取り入れ、児童の興味・関心に基づいたわかりやすい授業づくりをすすめる。 指標 学校アンケート「授業中はしっかり学習している」の肯定的回答を前年度以上【前年度88%】にする。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 教材や教具の研究を深め、ペア・グループ学習に積極的に取り組み、学習の基礎基本的な内容の定着を図る。また、教職員が各教科領域の中でICT機器を活用したり、研修会や授業研究会で学びを深めたりすることで、指導力の向上をめざす。 指標 学校アンケート「学校生活の中で、学級の友だちと話し合う活動をよく行っている」の肯定的回答を前年度以上【前年度84%】にする。	
取組 取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 身体機能を高める運動習慣を身につけ、健康なからだをつくる。 指標 学校アンケート「基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）が身についている」の肯定的回答を前年度以上【前年度76%】にする。学校アンケート「外で元気に遊んで体を動かしている」の肯定的回答を前年度以上【前年度80%】を維持する	
取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 全校一斉の英語タイムを実施し、外国語に親しむ習慣化を図る。 指標 学校アンケート「外国語の学習は楽しいですか」の肯定的回答を前年度以上【前年度74%】にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

大阪市立茨田東小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を60%以上にする。 ② 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。 ③ 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーションの推進） 学習者用端末を活用することで、理解を深めたり、自主学習習慣をつけたりする。 指標 授業において中・高学年で、週に3回、低学年で週に1回以上、学習者用端末を活用する。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 全校一斉の朝読書を実施し、読書の習慣化を図る。 指標 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 教職員が健やかに勤務できる環境づくりをすすめる。 指標 教員の働き方改革に関する目標を、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」に基づき、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	